

動が激しく、且外界の条件も苛酷な冬山登山について実験を行い、余り運動を妨げることなく測定出来、機能的であるスポーツ用衣服の運動中の実態の一部を明かにすることが出来た。又夏期炎天下の畑作業について測定し、この程度の作業に対しては、直接式でも実用上差支ないこと、及び保護機能に重点をおいた作業衣の作業中の実態について知ることが出来た。

無線式は運動に対する制限はないが、装置が複雑になり易い。装置の簡略化に重点をおいた試作器について、精度とのかねあい、その他の実用上の問題点について説明する。

* 4 作業時における衣服の熱学的研究（第2報）

東北大学 大谷 史郎

第1報では、作業時における衣服の環境測定法全般について述べたが、本報では、そのうちサーミスター温度計をとりあげ、直接式と無線遠隔測定式について、装置の使い易さとその精度使用上の制限、測定結果について述べる。

直接式は十分な精度が得られるが、運動している場合の測定が制限される。実用範囲を知るために、非常に運